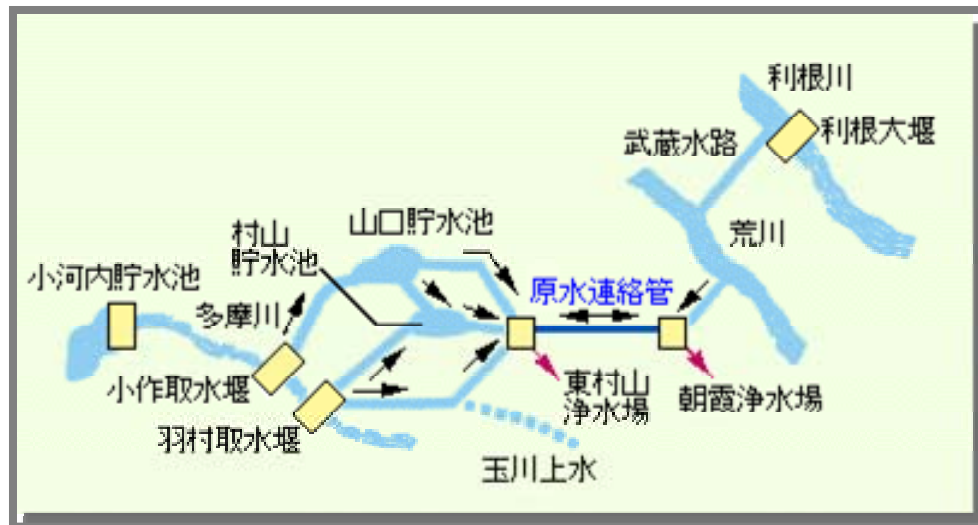


## 2-4- 利根川へ新たな水源を求めた東京都

昭和30年代以降東京への人口集中と活発な都市活動により、深刻化する水不足は国家的な課題となり、日本最大の河川である利根川の水源地開発が急速に進められました。建設省や水資源開発公団によって、利根川にダムや取水堰、導水路などが建設され、東京都は、それらの建設費用を分担するとともに、朝霞、小作、三園、三郷各浄水場の新設工事や、金町、東村山両浄水場の増強工事等を行い、急増を続ける水需要に応えました。(出典:東京都水道局ホームページ)



利根川と多摩川との連絡施設

(出典:東京都水道局ホームページ)



利根大堰は、利根川中流部に位置し、農業用水、都市用水、浄化用水の取水を行っている可動堰です。



武蔵水路は利根大堰で取水された東京都都市用水及び埼玉県都市用水を荒川中流部まで導水する開水路です。

(出典:水資源機構 利根導水総合管理所)